

## ダッテのアノテーションとガイドライン

山口 文菜・鈴木 咲羅・徳永 理子・荒津 千晴・藤本 悠花 (以上、九州大学文学部)

上山あゆみ (九州大学人文科学研究院)

### 1. はじめに

ダッテという語は、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)において1つの語彙素として登録されておらず、文字列検索を行うと、接続詞のダッテや取り立て詞としてのダッテのみならず、「断定の助動詞ダ+助詞ッテ」などの形で伝聞・引用や断定を表すものや、「めだッテ」や「いらだッテ」のように動詞の一部に含まれているものも取り出される。コーパスにおける検索の有用性を高めるためには、これらが用法アノテーションによって適切に区別されていることが望ましい。そのためには、必要に応じて言語学的テストに基づいて分類のガイドラインを作成することが有用である。本発表では、ダッテのさまざまな用法について、分類ガイドラインを作成するにあたって、どのような困難な点があったかを明らかにした上で、実際にアノテーションを試み、その結果を述べる。

### 2. ダッテの分類ガイドライン

まずここで、提案するガイドラインを示し、それぞれの分類について代表的な例文と分類の問題となりうる点を順に述べる。

また、以下で「取り立て詞」として述べるダッテは、接続詞や断定のダ+助詞ッテで構成されるダッテとは異なり、主に名詞句に接続して機能を持つダッテである。

a	接続詞	主に文頭に独立して現れる接続詞のダッテ
b	伝聞・引用	断定のダ+伝聞・引用の助詞ッテ 他者の意見や行動について述べている
c	断定	断定のダ+助詞ッテ 自分の意見や判断、客観的事実について述べている
d	フレーズの一部	「どうだッテ」 デモと置き換えられない疑問代名詞+ダッテ
取り立て詞		
e	疑問代名詞+ダッテ	デモと置き換えられる疑問代名詞+ダッテ
f	意外	社会通念に反することを例示し、その意外性を強調する デモと置き換えられる
g	最低限	数量詞+否定辞と共起し、数量が極端に少ないことを表す またはダッテが接続する名詞が動作主(対象)となる可能性が最も低いと主観的に判断している
h	可能性	稀に起こりうる事態を例示する

		サエ・スラと置き換えられる
i	同類	取り立てる対象が類似事態と同様の性質を持つことを示す モマタと置き換えられる、 または同様の事柄が列挙してある
j	主題提示	事態や事柄を提示する

### 3. 代表的な例文と問題になりうる点

#### 3.1. 「a.接続詞」について

「a.接続詞」の代表的な例文は以下の通りである。

- (1) a. 「牛乳プリン、食べないの？」  
「だって、嫌いなんだもん」  
[中西 2013:229(17)]
- (2) b. 「君も十分すごいよ。だって、  
県で一位を取ったんでしょ」

[作例]

この分類のダッテは、主に文頭において独立して現れる接続詞のダッテである。

#### 3.2. 「b.伝聞・引用について」

「b.伝聞・引用」の代表的な例文は以下の通りである。

- (3) a. 「どういう話？」「秋田の人が、製薬会社の懸賞に応募して、テレビが当たったんだっ  
て」「すごいね」  
(曾野綾子『極北の光』LBj9\_00218)  
[中西 2013:229(16)]
- (4) b. 「太郎も風邪ひいたんだって」

[作例]

この分類のダッテは、断定の助動詞のダッテや形容動詞の語尾(優秀だ)、動詞のタ形(飲んだ)等の、「断定を表すダ+助詞ッテ」で構成されるダッテの内、直前の内容が他者の意見や行動について述べているものである。

#### 3.3. 「c.断定」について

「c.断定」の代表的な例文は以下の通りである。

- (5) a. 私は今が一番幸せだって思う。  
[作例]
- b. 彼が芸能人だってことを初めて知った。[作例]

この分類のダッテは、「b.伝聞・引用」に対して、断定のダ+助詞ッテで構成されるダッテの内、直前の内容が話し手(動作主)自身の意見や判断、あるいは客観的な事実を述べているものである。

#### 3.4. 「d.フレーズの一部」について

「d.フレーズの一部」の代表的な例文は以下の通りである。

- (6) a. そんなことはどうだっていい。  
[作例]

- b. 「なんだって!？」[作例]

この分類のダッテは、「どうだって」という形や、取り立て詞である「e.疑問代名詞+ダッテ」とは異なり、疑問や聞き返しの意味合いが強い「疑問代名詞+ダッテ」の形で表れる。この場合のダッテはデモと置き換えることができない。

また、「どうだって」に関しては、デモと置き換えることは可能である。しかし、取り立て詞は主に名詞句に接続して機能を持つものであり、疑問副詞である「どう」に接続

するダッテは取り立て詞に相応しくない。  
また「どうだっていい」といった慣用的な  
フレーズで表れることが多いため、取り立  
て詞のダッテからは除外して考えることと  
した。

### 3.5. 「e.疑問代名詞+ダッテ」について

「e.疑問代名詞+ダッテ」の代表的な例文  
は以下の通りである。

- (7) a. どんな人だって構いません。  
[丹羽 1995:490(1a)]

- b. いつだって行けます。  
[平川 2020:3(4b)]

この分類のダッテは、「d.フレーズの一部」  
に分類される疑問代名詞+ダッテとは異な  
り、ダッテをデモと置き換えることができ、  
それによって全称を意味する。

### 3.6. 「f.意外」について

「f.意外」の代表的な例文は以下の通りで  
ある。

- (8) a. 大雨だって必ず行きます。  
[中西 2013:228(7)]

- b. この辛さにはインド人だってび  
っくりした。[中西 2013:228(8)]

この分類のダッテは、デモと置き換えら  
れる、かつダッテを含む 1 文が社会通念に  
反することを例示し、その意外性を強調す  
る、という機能を持つものである。

平川(2020)においては、この分類はタトエ  
を補うことのできる「譲歩」と過去の出来事  
に対して意外性を強調する「意外」の 2 つ  
に分類されていた。しかし、これらの用法が  
「常識として考えられる帰結に反すること  
を例示し、その意外性を強調している」とい  
う特徴で一致しており、また、平川(2020)に

おける「意外」の分類基準として設けられて  
いたサエ・スラと置き換えられる、という特  
徴は必ずしも過去の出来事に対してのみ当  
てはまるものではない。そのため、中西  
(2013)においてデモと置き換えられるダッ  
テを「肯定的用法」として分類していたこと  
から、その分類基準を踏襲し、「f.意外」と  
して設定した。

### 3.7. 「g.最低限」について

「g.最低限」の代表的な例文は以下の通り  
である。

- (9) a. 5 分だってかからないだろう。  
[平川 2020:5(10b)]

- b. コーヒーが好きなので、いつも  
は朝起きるとすぐコーヒーが飲  
みたくなる。しかし、今朝は腹  
痛で好きなコーヒーだって全然  
飲みたくなかった。

[cf. 中西 2013:234(35)]

- c. 少しのことでは動じない太郎だ  
が、その事件を聞くとさすがの  
太郎だって驚いた。[作例]

まず、「数量詞+否定辞と共起する」とい  
う特徴については、平川(2020)における「最  
低限」の用法を踏襲している。しかし、この  
条件のみではコーパスにおける例文がほと  
んど見られず、また平川(2020)におけるフロ  
ーチャートでは「譲歩」や「意外」に分類さ  
れる例文の中にも、話し手が最低限の意味  
合いを持って発言していると思われる例文  
が存在した。そのため、「ダッテが接続する  
名詞が動作主(対象物)となる可能性が最も  
低いと主観的に判断している」と文脈上で  
判断される例文についても「g.最低限」に分  
類することにした。

### 3.8. 「h.可能性」について

「h.可能性」の代表的な例文は以下の通りである。

- (10) a. クマに襲われることだってある  
かもしれない。 [作例]  
b. 四十本だって十分狙えるバッター  
ですよ、松井は。

[cf. 平川 2020:14(46)]

この分類のダッテは、サエ・スラと置き換えられるものであり、稀に起こりうる事態を例示するものである。「f.意外」や「g.最低限」と比較すると、主に「～すること」といった事態を取り立てる場合が多い、という特徴がある。

### 3.9. 「i.同類」について

「i.同類」の代表的な例文は以下の通りである。

- (11) a. 太郎が来た。次郎も来た。三郎だ  
って来た。[丹羽 1995:491(4a)]  
b. 男だって女だっていいじゃない。  
[丹羽 1995:490(1b)]  
c. カエルだって、生きているんだ。  
意味もなく殺しちゃいけない。  
[中西 2013:228,(5)]

この分類のダッテは、モマタと置き換えられる、あるいは取り立てる名詞と同様の事柄が列挙されている場合に、取り立てる対象が類似事態と同様の性質を持つことを示す。

### 3.10. 「j.主題提示」について

「j.主題提示」の代表的な例文は以下の通りである。

- (12) a. あんなことを言われれば、腹だ

って立つよ。

[中西 2013:228(10)]

- b. 太郎だって成人したことだし、  
そろそろゆっくりしてもいいだ  
ろうか。[平川 2020:9(19b)]

この分類のダッテは、取り立てる名詞に対して何らかの意味を付加する、というよりは、単に話の主題を提示する役割を持つ。

### 3.11. 分類の問題点

本発表における分類では、前後との接続などから見てとれる、形式的な側面から見た客観的な分類基準ではなく、分類主の主観的な判断による分類基準が多い。特に「私だってびっくりした。」など、人を取り立てている場合に、「もまた」と置き換えて「i.同類」とするか、文脈を読んで「g.最低限」とするかで、分類主によって判断が分かれる場合がある。AIではなく人間が分類するメリットとして、このような主観的な判断に委ねる分類基準を設けたが、文脈等によって分類の結果に差が出る場合がある。

## 4. アノテーション結果

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)から、ダッテを含んだ例文 500 件を抽出し、その中から「めだっている」「いらだっている」等の動詞の一部である例文を除いた 487 件について、九州大学文学部の学生 2 人でアノテーションを行った。その結果からカッパ値を算出したところ、0.769 となった。アノテータ間でぶれの少ない、ある程度信頼性のあるガイドラインが作成できたことになる。

## 5. 参考文献

- 井島正博(2007)「サエ・マデ・デモ・ダッテの機能と構造」,『日本語学論集』, 3:45-82.
- 中西久実子(2013)「とりたて助詞「でも」で言い換えられない「だって」」,『研究論叢』, 82:227-239.
- 丹羽哲也(1995)「「さえ」「でも」「だって」について」,『人文学研究 大阪市立大学文学部紀要』, 47:473-499.
- 平川絢瑚(2020)「とりたて詞ダッテの機能と用法分類」, 卒業論文, 九州大学.